七變化

春霞樓奏賀作

七之巻

へ13
3689
25

門へ13
號3689
卷25

金苞七變化 第貳拾五輯 上之巻

鶴亭秀賀作
歌川國貞画
金松堂梓

卯春新史

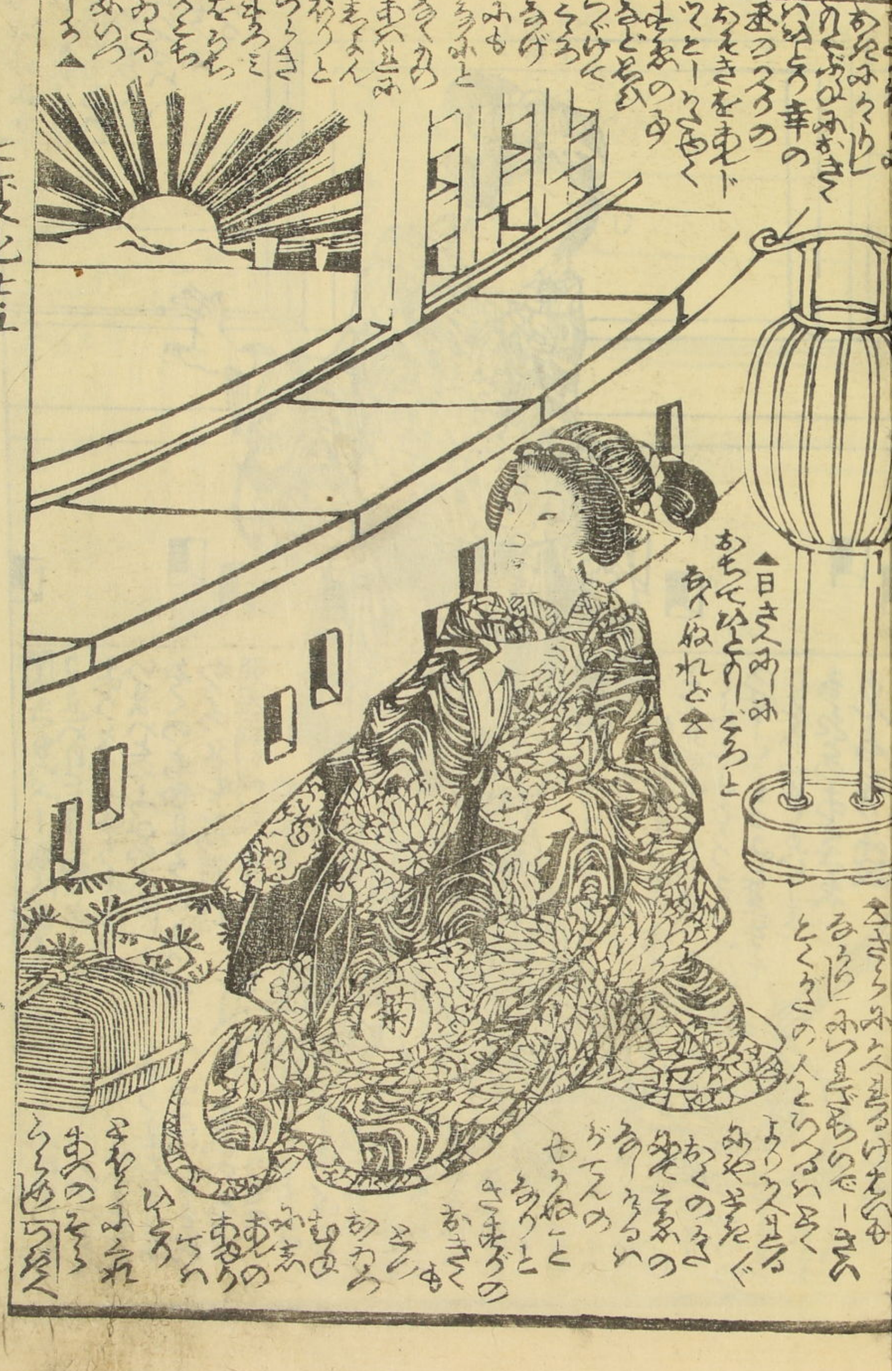
月落烏啼て始て驚く机上の夢覺まで空中の稿成り彼金華猫の物語り干粤寓言五百葉數を重ねて不文言二十五編と續きしも想へバ厚き御贔屓の餘慶よ有バと余計成談話も自然實ゞ入て本傳ゑりぬ外傳仕話外ゲ過ると言まん歟なれ共是ぞ末竟よ妖猫退治の大功顯ハさ伊東左右太の譚よ移る其緒口とも視めくいし

慶應三丁卯年孟春日稿成

鶴亭藤村秀賀識

○難波屋の渾家於つの角
○幸の丞の妻於菊
○難波屋四郎兵衛
實名未知

大内家の
若君甲子丸
○山口玄蕃
若君の
附人と
○若君の
乳母
玉江

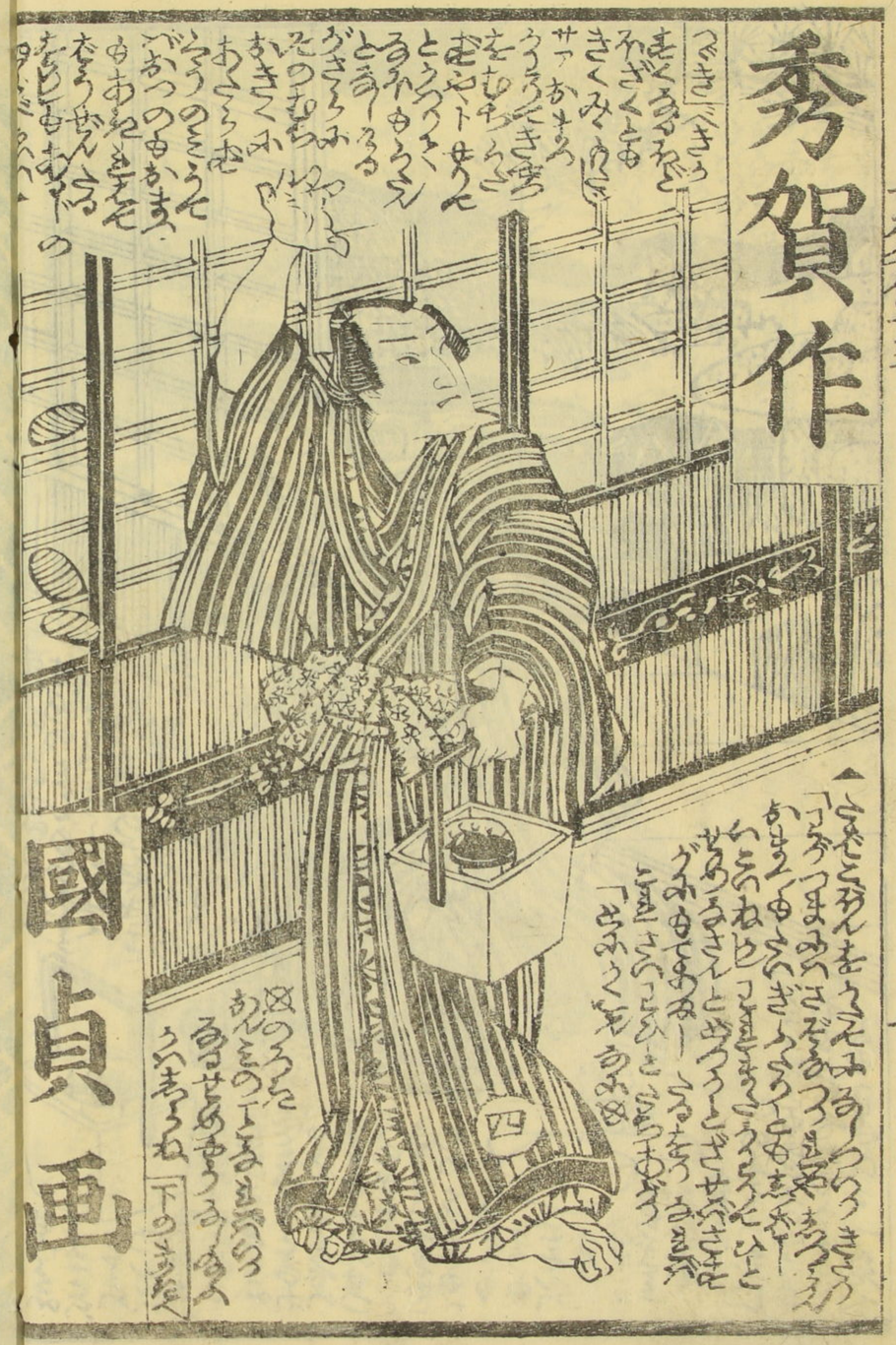

菊

四
角
菊

四
松
角

「つぎ」ひとまえ
きくをまひぎ
ヤアこのあまめ
よくもきやうち
すてあけべつみあろ
とかうもあのいひ
ものしあらぐさと
まのかゐふ
うへ且あぐらつと
めいやどやも
あくできさ
こ且ろら
ろろ
いと
菊
四

秀賀作



武門高月　大貝百文
江戸八形町通り　食島屋三郎謹製
八貝三十銅
中貝四十八銅

神仙一角丸
氣の毒　小児五才　諸病
諸合所　上総國　東金町　大黒屋傳兵衛

金地本双紙　問屋　金松堂
横山町三丁目　辻岡屋文助梓

周防染模様　四編　五編　六編　国貞画
梅春霞引始　三編　魯文作　讀切　国周画
濡衣女鳴神　十編　秀賀編次　讀切　国貞画
東海道江戸名所　魯文作　国芳画

梅蝶樓國貞画
五編
第貳
卯春新刻
金松堂梓
下之巻

金華七變化

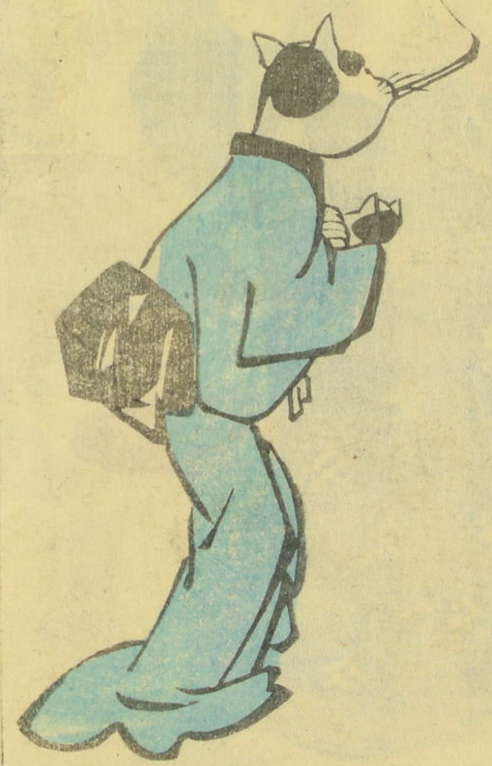
第弐拾壱編

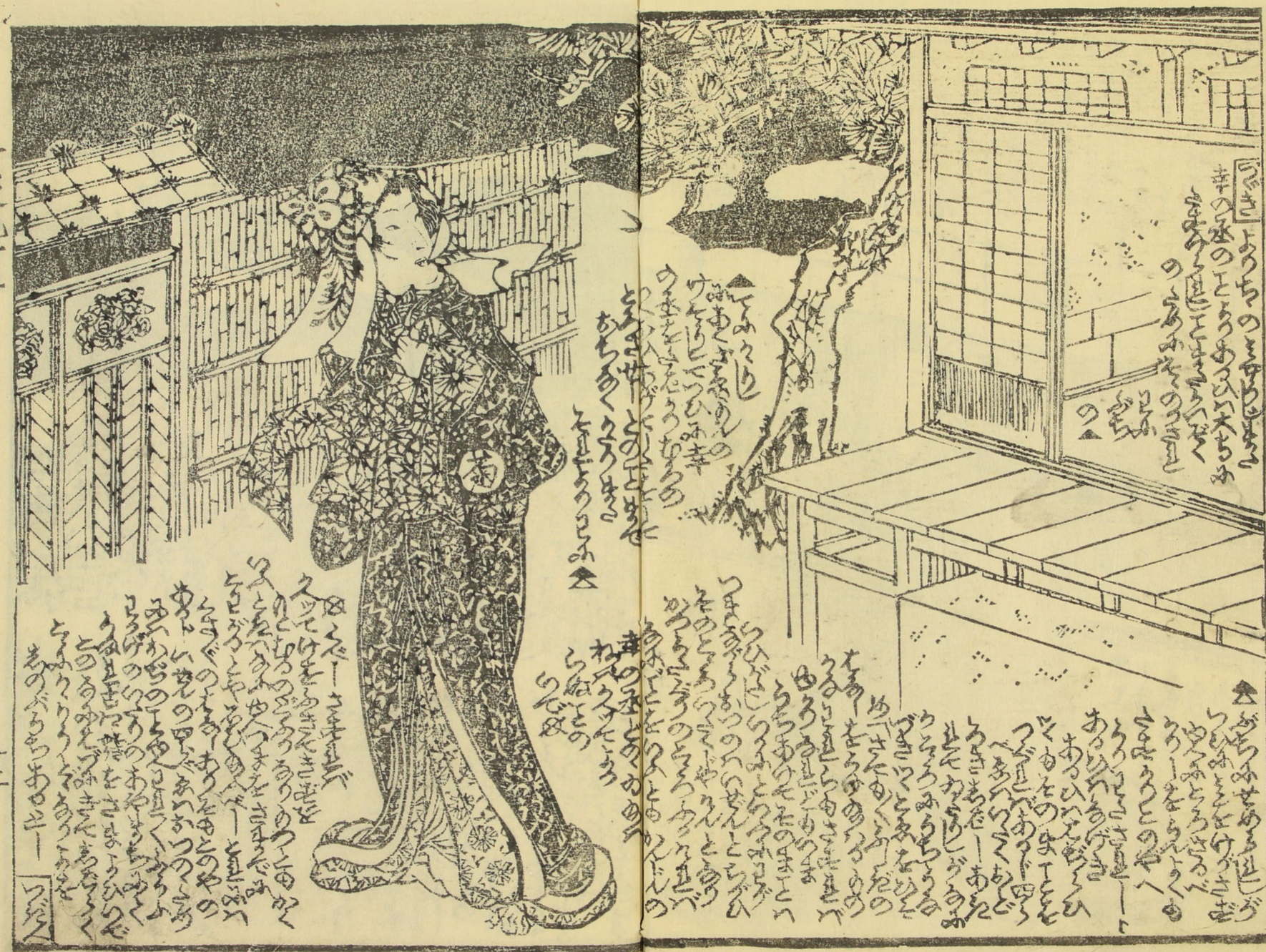
秀賀作

國貞画

金松堂梓

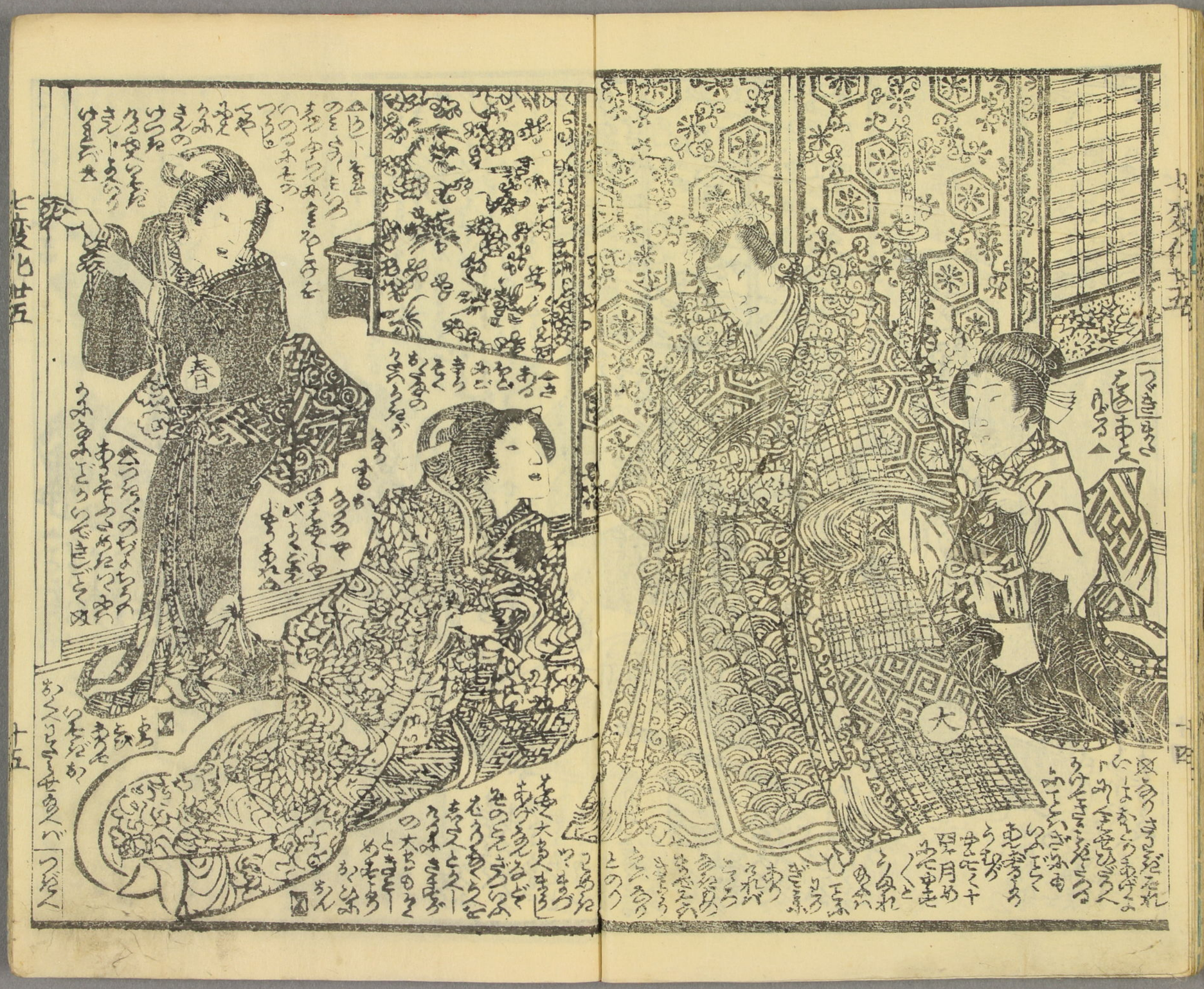
丁卯の孝月吉





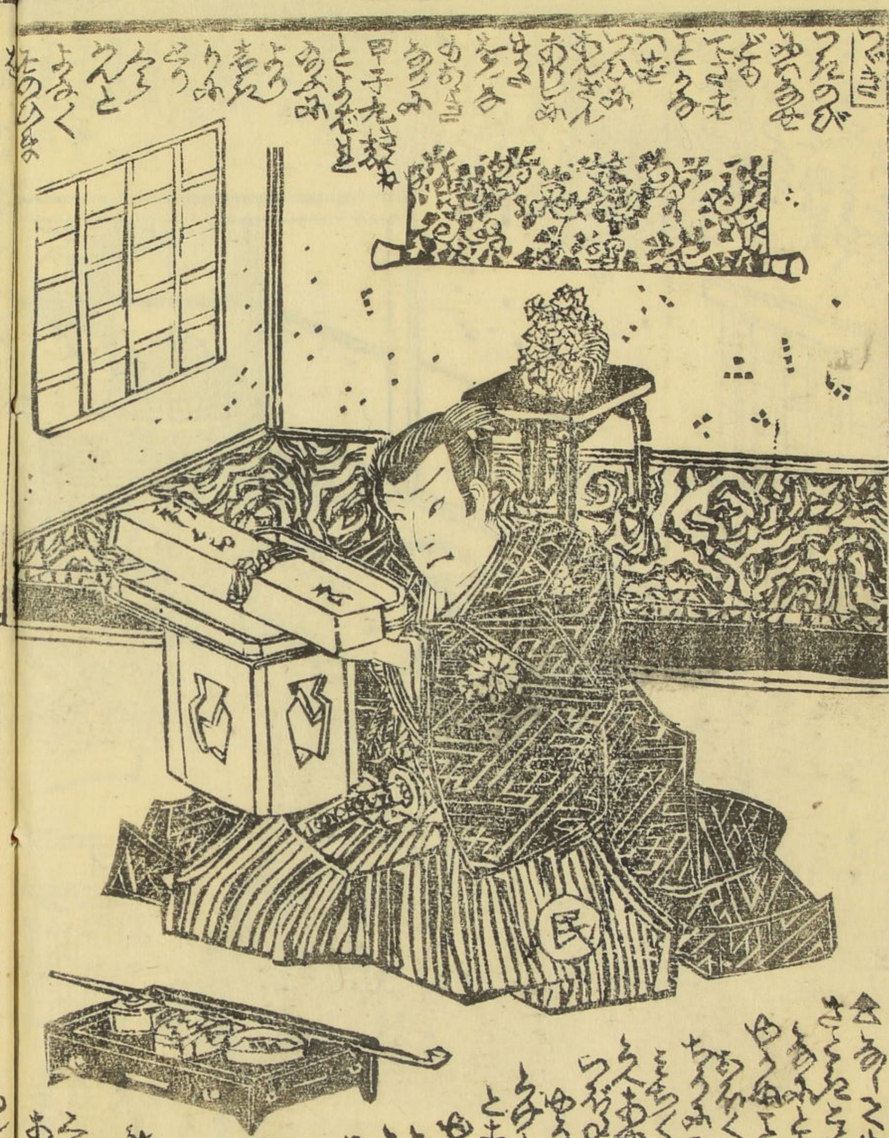
難波屋繁昌の圖

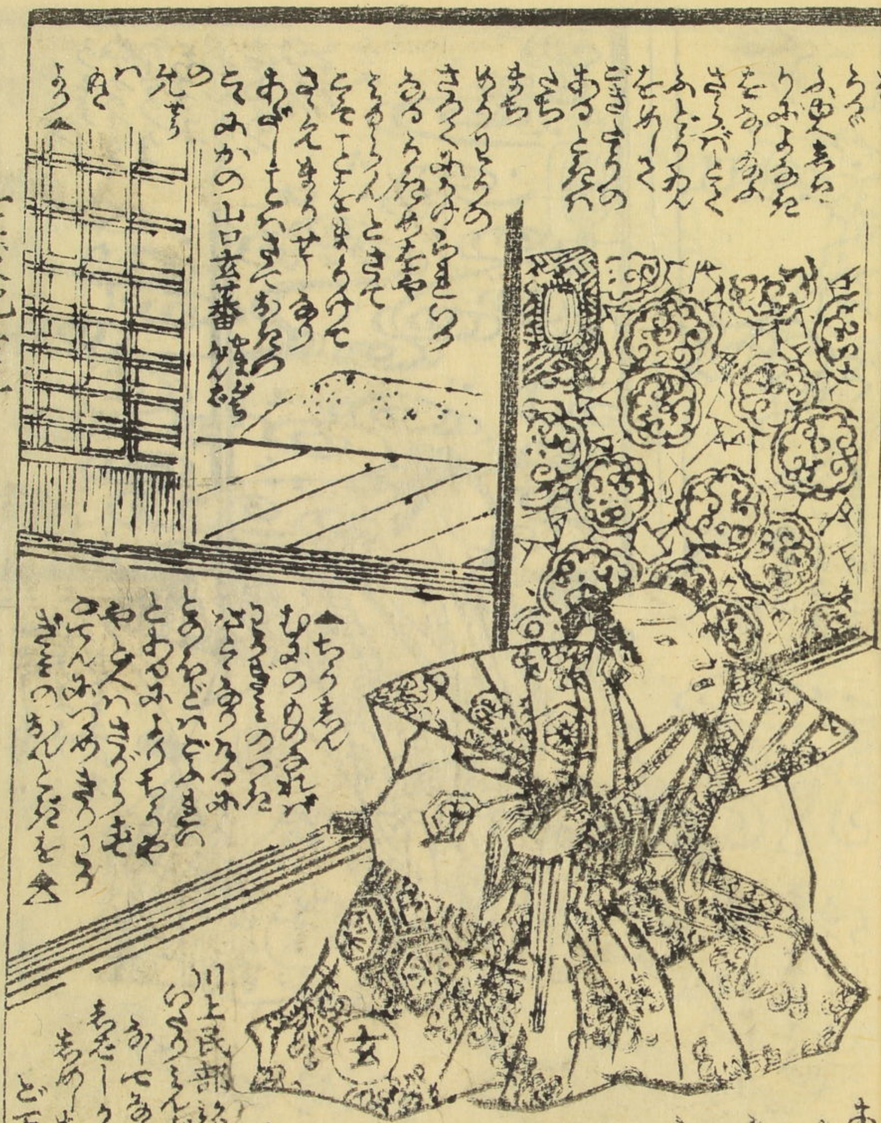
若君


大
春

つぎ
女中
玄
春日野
甲子丸

春





鶴亭秀賀作
歌川國貞画

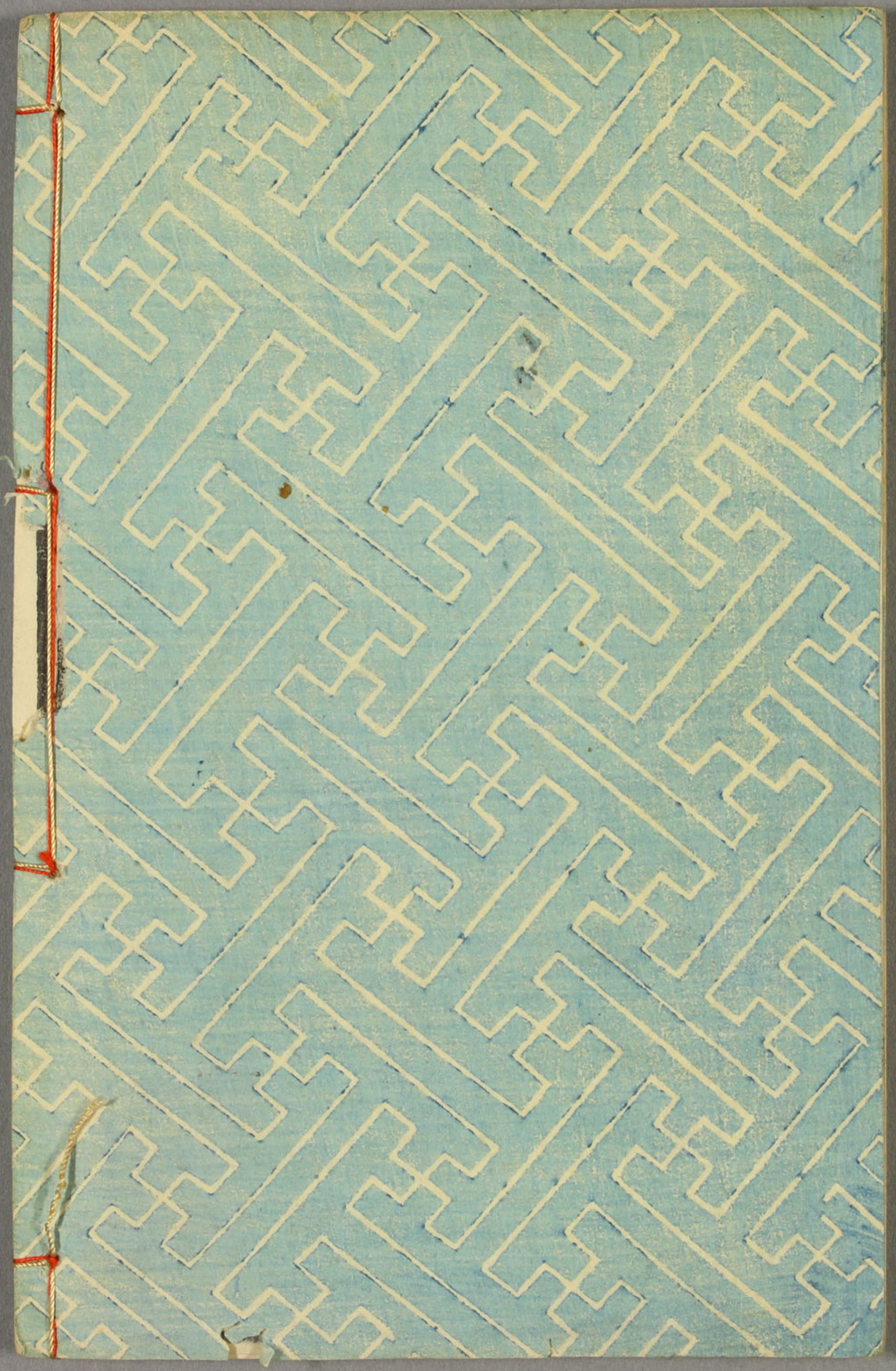
金華七變化

鶴亭秀賀著作
梅鶴樓國貞画

右の殊の外御評判宜敷作者画工一世一代の新案新工夫とくと御覧遊ばされ音官競て高覧をねがふ云々

水鏡山鳥奇譚　初篇より三篇迄　鶴亭秀賀作　一鶯齋國周画

假枕巽八景　初篇　假名垣善文作　二篇　同　画

和哥紫小町文章　初篇より追出板　鶴亭秀賀作　歌川國周画

全　地本双紙　問屋　金松堂　横山町三丁目　辻岡屋文助梓